



## 『リーディングスキル向上 実践事例集』の積極的な活用を

6月1日付けで福島県教育庁義務教育課のホームページに「令和2年度 AI時代を生き抜く読解力向上事業 リーディングスキル向上 実践事例集」が掲載されました。各校で現職教育等の中で内容を確認し、日々の授業改善にご活用ください。

今回、11ページの「授業づくりワークシート」の中で「子供たちにとってなじみのない言葉（聞きなれない言葉・聞いたことがある言葉だけれども、意味を説明できない言葉）」を「親密度の低い言葉」と表記しています。以前は「親和性の低い言葉」と表記していましたが、次のような二つの理由で変更されています。参考にいただければ幸いです。

- ① 「親和性」という言葉は、もともと化学分野で使われている言葉です。ビジネスや人間関係においても使うことがあり、使うシーンによって、少しずつ解釈が異なります。「子供たちにとってなじみのない言葉」という意図を伝えるには、「親和性」よりも「親密度」と表記したほうがよいと判断し、事例集に掲載しています。
- ② 「教育のための科学研究所」ホームページ上で新井紀子先生が「語彙親密度が低い語彙」と表現していることも理由の一つです。

## 第2回相馬市公立学校研究指導員会研修会の感想から〈5月24日（月）実施〉

～ 今回のポイントは、「まず行動を起こすこと・やってみること」です。～

### 板橋区の実践から学んだこと

- ・ 教科書を読むこと・読み解くこと・使いたおすこと
- ・ 今まで非連続のテキストなどの無造作な取扱いをしてきたこと
- ・ 児童生徒の意見や考えを同義文判定で考えさせること



### 講話の感想から

- ・ 係り受け解析、照応解決などの取組からスタートすること
- ・ 担当学年以外の教科書の読み込みが必要なこと
- ・ 情報や資料には意味があると理解したこと
- ・ 教材研究に力を入れ、日々の授業を改善すること
- ・ 今後は何事も文で表現させていくこと

### 市内各校の取組状況・今後の取組

- ・ 授業づくりワークシートの活用
- ・ 低学年からの考える音読、視写活動の実践
- ・ 係り受け解析に基づく発問とライン引き
- ・ 定義文の丁寧な確認
- ・ 重要語句・親和性（親密度）の低い言葉の記録と蓄積
- ・ 朝のRSタイムの位置付け（低学年の音読、中学年の言葉足しゲーム、高学年の要約活動等）